



2021年5月14日

各 位

株式会社 R V H
代表取締役社長 和田 佑一
(東証二部・コード6786)
問合せ先 IR・広報室
電話 (03-6277-8031)

通期連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2021年3月期連結業績につきまして、前期実績値(2020年3月期)との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は2021年3月期に係る連結業績予想を公表していないため、増減につきましては前期実績値との比較となっております。

1. 2021年3月期通期連結業績と前期実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (注)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期(2020年3月期) 実績(A)	54,523	△341	△26	△1,625	△84.09
当期(2021年3月期) 実績(B)	1,474	△177	△100	△5,449	△281.92
増減額(B-A)	△53,049	164	△73	△3,824	—
増減率(%)	△97.3	—	—	—	—

2. 差異が生じた理由

2021年3月期通期連結業績につきまして、主にレディスサービスセグメント及びWEBサービスセグメントに属する全子会社を第三者へ譲渡したことにより、売上高が前年実績を大きく下回る結果となりました。

当該子会社株式譲渡により、のれん償却費が減少したこと、システム開発セグメントが堅調に推移したこと等から、営業利益は前年実績を上回る結果となった一方、経常利益は当該譲渡子会社に属する受取利息等の営業外収益が減少したため、前年実績を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別利益として株式会社ミュゼプラチナムの株式譲渡に伴う関係会社株式売却益356百万円を計上した一方、特別損失として株式会社ラブリーティーンの株式譲渡に伴う関係会社株式売却損451百万円及び債権放棄損742百万円、株式会社トラストベイルに係る債権売却損1,350百万円を計上したこと、子会社株式の譲渡に伴う税効果会計を反映した結果、法人税等合計3,018百万円を計上したこと等により、前年実績を大きく下回る結果となりました。

以 上